

## 真剣な研究続けて185回目

### 近畿支部セキュリティー対策部会

近畿支部事務所長 河村美三



近畿支部事務所長の河村です、今年で5年目を迎えました。「このグループは、こいつが仕込み役、こいつがキャッチでこいつが打ち子、壁役との4人組や」と防犯ビデオを観ながらの検討や「ゴト対応をスタッフに教え込むのはなかなか難しい」などの悩みまで、メンバーが所属企業の垣根を越えてゴトに関する情報やその対策をフリートークで積極的に検討し合う「近畿支部セキュリティー対策部会」について紹介します。



真剣にゴト対策を練る部会員たち



実機を使って研究も頻繁に行う

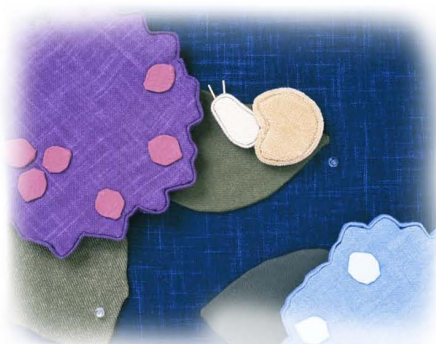
この部会は、「ホールにおけるゴト等不正行為に対する会員相互の情報ネットワークを作り、未然に適正な防止対策を検討し、行政又は業界に対し具体的に提案し業界の健全化を図る」という目的で、平成10年9月に近畿支部に独自に設置され、今年で17年目に入ります。この間、部会メンバーの入れ替

わりはあるものの、毎月1回部会を開催し、現在17人のメンバーがその時々が発生したゴトの情報共有と対策への取り組みを継続して、今年5月で開催は185回目をマークしました。

遊技場ホールでセキュリティーを担当しているメンバーは、「この業界からゴト行為を排除する、撲滅する」という意欲に燃えています。

「ゴト事例に対する情報の共有、事例の検討や対応」「各社のゴト対策状況」など、セキュリティー対策について真剣で遠慮のない討議を繰り返します。

また、遊技機を使ったゴト方法や不正基板を使った不正の見分け方等の検証を行い、その結果をメンバーの所属企業内セキュリティーの強化に活用することや必要なゴト対応情報を支部会員に提供するなど厳しい中にも仲の良さも売り物です。毎年支部総会セミナーでは、セキュリティー対策部会としてその時々ゴトの発生状況



に応じたテーマでの講演を任せられ、セミナー受講者からも好評を得ており、これがメンバーの意識を向上させる結果にもなっていると、思います。

今年1月から、メンバー間のゴト情報の迅速で明確な共有を目的として、「近畿支部セキュリティーネットワーク」を構築し、

自社ホールでのゴト事例やゴト情報（ビデオ画像）などメンバーからアップされた情報を迅速にメール送信できるシステムを活用して、ゴト情報の迅速な共有と部会での対応の検討などに活用しています。

中部支部セキュリティー対策部会と合同検討会などの連携をはじめましたが、日遊協全体としてゴト情報の共有を出来ればと考えており、前向きな目標を持ちながら活動に努めています。各支部のセキュリティー対策部会の皆さん、今後とも連携をよろしくお願います。